

# Q. 物流ってなに？



# A.



国内貨物は  
**48億トン**  
もあるんだ！

みんなの  
ところどころに荷物が届く  
仕組みだよ！！

## 貨物輸送の主役 9割がトラック

物流という言葉は、物が流れると書くよね。物流をかんたんにいうと、モノを作る生産者から消費者までの移動のことを意味するんだ。もう少し詳しくいうと、物流は包装から輸送、保管、荷役などの活動すべてを含んだ言葉なんだよ。農家の人が作ったお米や野菜、工場で作

られた自動車やテレビ、学校で使っている文具も、みんなのところにくるまでには、物流という仕組みを必ず通るものなんだ。

平成28年度にトラックや船、鉄道、航空機などにより国内で運ばれた貨物の量は、約48億トンにもなるんだ。このうちの約92%は、トラックが運んでいるんだよ。つまり、日本の貨物のほとんどはトラックが運んでいることになるんだね。

## 日本の物流を支えているトラック

トラックが運ぶの得意としている貨物は、なんといっても野菜や果物、肉や魚といった生鮮食品なんだ。船や、鉄道は近くに港や、線路、駅がないと直接届けられないからね。全国の産地からとれたての野菜や果物を早く時間通りに運ぶには、トラックが最適だといえるんだね。ほかに本や洋服なども、ほとんどトラックで運んでいるんだよ。

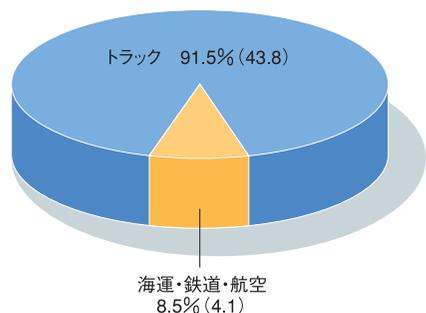
## トラック豆知識

### トラックの歴史

日本でトラックが誕生したのは、今から110年以上も前の1902年(明治35年)。東京の西洋食料品店「亀屋」が、フランスから輸入したクレメントというクルマを使って、商品の運搬をしたことがはじめて

といわれています。当時、ほとんどの日本人がクルマを見たことがなかった時代でしたが、そのころからもうトラックは活やくしていたんですね。

■輸送トン数の輸送機関別分担率(平成28年度)  
単位:億トン



資料:国土交通省



# 生命や暮らしを守るために、 トラックは活やくしているんだ。



●東日本大震災の被災地に向け支援物資を輸送するトラック



●全国から送られた支援物資は、作業員により手際よく仕分けられる



●新潟県中越沖地震



●平成30年7月豪雨



●熊本地震

また、平成7年に起きた阪神・淡路大震災、平成19年に起きた新潟県中越沖地震、平成28年の熊本地震、平成30年の7月豪雨などでも、多くのトラックが出勤し支援活動を行ったんだ。

また、平成7年に起きた阪神・淡路大震災、平成19年に起きた新潟県中越沖地震、平成28年の熊本地震、平成30年の7月豪雨などでも、多くのトラックが出勤し支援活動を行ったんだ。

ライフラインの役割を果たすトラック

トラック輸送業界では、自然災害などの緊急時に国や都道府県、市区町村等と協力して、緊急支援物資を輸送するんだ。

また、平成7年に起きた阪神・淡路大震災、平成19年に起きた新潟県中越沖地震、平成28年の熊本地震、平成30年の7月豪雨などでも、多くのトラックが出勤し支援活動を行ったんだ。

また、平成7年に起きた阪神・淡路大震災、平成19年に起きた新潟県中越沖地震、平成28年の熊本地震、平成30年の7月豪雨などでも、多くのトラックが出勤し支援活動を行ったんだ。

# トラック輸送を知ってもらうために、さまざまな活動を行っているんだ。



●「トラックの日」に全国各地で開かれているさまざまなイベント



●フラッシュアニメ「もしもトラックが止まったら」



●「トラック早分かり」

トラック輸送事業をみんなに正しく知ってもらうために、全日本トラック協会では機関紙『広報とらつく』の発行をはじめ、新聞、ラジオ、インターネットなど、さまざまなメディアを活用した広報活動を積極的に行っているんだ。とくに、ホームページでは、フラッシュアニメ

「もしもトラックが止まったら」や、「トラックのしくみを解説した」「トラック早分かり」が見られるよ。

また、平成4年には10月9日を「トラックの日」と決めて、「トラックは生活と経済のライフライン」を統一テーマとし、全国各地でさまざまなイベントを開きしているんだ。

新聞やラジオ、インターネットなどを活用

10月9日はトラックの日

